

第22回アジア陸上競技選手権大会（2017／ブバネーシュワル） 日本代表選手選考要項

1. 編成方針
ワールドチャレンジ又はTOP8カテゴリーを中心に、第32回オリンピック競技大会（2020／東京）での活躍を期待する競技者に、国際経験の場を提供する。
2. 期日
2017年7月6日（木）～7月9日（日）
3. 場所
ブバネーシュワル（インド）
4. 種目
 - (1) 男子
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、110mH、400mH、
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、十種競技、
4×100mリレー、4×400mリレー
 - (2) 女子
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、100mH、400mH、
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、七種競技、
4×100mリレー、4×400mリレー
5. 選考競技会
 - (1) 2017アジアグランプリ 嘉興（中国）・金華（中国）・台北（チャイニーズ・タイペイ）
 - (2) 2017日本グランプリシリーズ（東京・兵庫・広島・静岡）
セイコーゴールドデングランプリ陸上2017川崎
6. 選考基準
各種目における選考の優先順位は、下記の通り。
 - (1) トラック&フィールド種目
 - 1) 選考競技会（1）にアジア陸上競技連盟の承認を受けて出場した競技者から各種目1名。
 - 2) ・2017日本グランプリシリーズで日本人8位以内に入賞した競技者。
・セイコーゴールドデングランプリ陸上2017川崎に出場した競技者。
・強化委員会が推薦する競技者。
 - (2) リレー種目
リレー種目の代表の選考は、個人種目に準じて選考するが、リレーの特性を考慮する。
7. 選考方法
全ての選考競技会終了後、選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会で決定する。
8. 補足
 - (1) 種目毎の代表は、アジア陸上競技連盟エントリールール以内の人数とする。
 - (2) リレー種目については、個人種目のエントリー状況などから総合的に判断し、派遣を検討する。
 - (3) 本大会の優勝者は、IAAFの第16回世界陸上競技選手権大会（2017／ロンドン）エントリースタンダードに基づき、参加標準記録到達者の資格を有す。ただし、日本代表の選考については、本連盟が定める選考要項に準じて選考される。
 - (4) 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合は代表を取消すことがある。
 - (5) アンチ・ドーピングに関わる全ての基準を順守出来ない場合、日本代表の資格を取り消す場合がある。